

## R3年度 離島就業看護職員研修

1. 目的:離島就業看護職員の抱える課題、ニーズ等について研修会を開催し看護職員のキャリアアップ、看護の質向上を図る。
2. 対象:離島の福祉・保健・医療関係者等
3. 定員:40名程度
4. 受講料:無料
5. 研修内容

地区	新上五島地区	志岐地区	五島地区	対馬地区
開催期間	1月15日(土) 10:00~12:30	12月9日(木) 14:00~15:30	1月29日(土) 14:00~15:30	11月13日(土) 13:00~14:30
研修テーマ	オンライン研修 <b>Zoom</b> 「緩和ケアにおける終末期のあり方」	オンライン研修 <b>Zoom</b> 「患者、家族からのハラスメント、クレーム対応」	足部の構造障害と姿勢の影響	オンライン研修 <b>Zoom</b> 「ACPにおいて、看護師が果たすべき役割」
講師	長崎労災病院 緩和ケア認定看護師 前川 妃史 先生	日本看護連盟 友納 理緒 先生	長崎県五島中央病院 リハビリテーション科 技師長 理学療法士 相良 幹仁 先生	佐世保市総合医療センター 緩和ケア認定看護師 濱口幸人 先生
開催場所	長崎県上五島病院 ※配信はキャリア	長崎県志岐病院 ※配信はキャリア	長崎県五島中央病院	長崎県対馬病院 ※配信はキャリア

### 意見

ハラスメントの研修は弁護士の方の講義でわかりやすくとても勉強になった。多くの職員に受講させたいと思った。  
 コロナ禍の状況で緩和ケアを進める過程について話が聞けとても参考になった。  
 訪問看護師としてACPは大切で、十分な理解が必要だと思った。  
 ACPは医師を中心に連携し、家族とかかわってきたい。  
 日常生活改善、足部機能改善のために足部トレーニングを続けていきたい。

### まとめ

研修内容は90%以上の満足が得られている。受講後、現状の見直しが見えた・問題解決の糸口につながった。協議連携に役立てていきたいとの意見が多く出ていた。今後の活用については、看護実践やスタッフ教育に役立てたいと述べている。  
 研修の展開が対面でできずオンラインで実施したが、十分な方法とは言えなかったようだ、オンラインの環境調整に努め効果定期研修が提供できるよう努めていきたい。